

被爆遺構展示館は、被爆の実相を直接見て肌で感じていただけるよう、被爆遺構を露出展示しています。この被爆遺構を通じ、平和記念公園を訪れる人々に、「この地」にはかつて多くの人が暮らし町があったこと、そして「この地」に暮らしていた人々の日常がたった一発の原子爆弾により一瞬にして失われてしまったこと、そして被爆後の先人たちのためまぬ努力により「この地」が平和の象徴としての公園として整備され、平和で美しい町として復興を遂げたことをご覧ください。

旧中島地区被爆遺構について

この平和記念公園一帯には、被爆前、民家や商店等が密集し、人々の日常の営みやにぎわいがありました。被爆後、盛土をし、公園として整備したため、公園の下の一部には被爆当時の建物の基礎等が今も残っており、2019年（令和元年）に行った調査の結果、地面から60～90cm程度掘り下げたところに残る被爆当時の民家や道路の跡などが見つかりました。



調査の際に掘削した範囲



①炭化した畳、板材等



②側溝



③隣家との境界（石材列）



④盛土層

積層の成り立ち （平和記念公園の 整地の過程）



被爆前は多くの民家等が密集していました



被爆直後、爆風・熱線等で破壊されました



瓦礫の片付け・平坦化が行われました



土入れ・整地がされました

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館には、同館建設時に採取した地層の断面標本が展示されています。

積層の記憶
「この地」が語る歴史

被爆遺構展示館ガイド

■開 館 2022年(令和4年)3月下旬(予定)

■開館時間 (最終入館はそれぞれ閉館時刻の30分前)

3月-7月 8:30-18:00

8月 8:30-19:00 (8月5・6日は20:00閉館)

9月-11月 8:30-18:00

12月-2月 8:30-

■ 休館日 12月
■ 料 金 無料

■所在地 広島市中区中島町平和記念公園内

※遺構のモニタリング等のため、入館できないことがあります。来館前に必ずホームページで開館状況を御確認ください。

■交通案内: JR広島駅から約20分

[バス]

・南口から広島バス吉島方面行(のりば④24系統)で「平和記念公園」

下冊

・新幹線口から市内循環バスめいぷる〜ぶで「平和公園前」下車

[市内電車]

・紙屋町經由広島港(宇品)行で「袋町」または「中電前」下車

・宮島口・江波行で「原爆ドーム前」下車

平和記念公園とその周辺案内図

●ひろしま美術館
広島バスセンター
至成広島駅
「低層部」電停
「本通り」電停
本通りアーケード
袋町川
旧日本銀行
広島支店
平和大通り
「中電前」電停
平和記念公園
★被爆遺精展示館
国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
レズパウス
原爆の子の像
原爆供養塔
本川町
相生橋
「原爆ドーム前」電停
「本川町」電停
広島バスセンター
本館
東館
広島国際会議場
平和記念公園バスター

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号

TEL (082) 242-7831 FAX (082) 242-7452



2022.02

被爆遺構展示館ガイド

モニタリング機器の設置

保存状況等のモニタリングのために設置している機器について紹介しています。

被爆前の町並みと暮らし

被爆前の町並みや人々の暮らしなどを写真で紹介しています。

原子爆弾による被害

原子爆弾による被害の実相を紹介しています。

被爆遺構

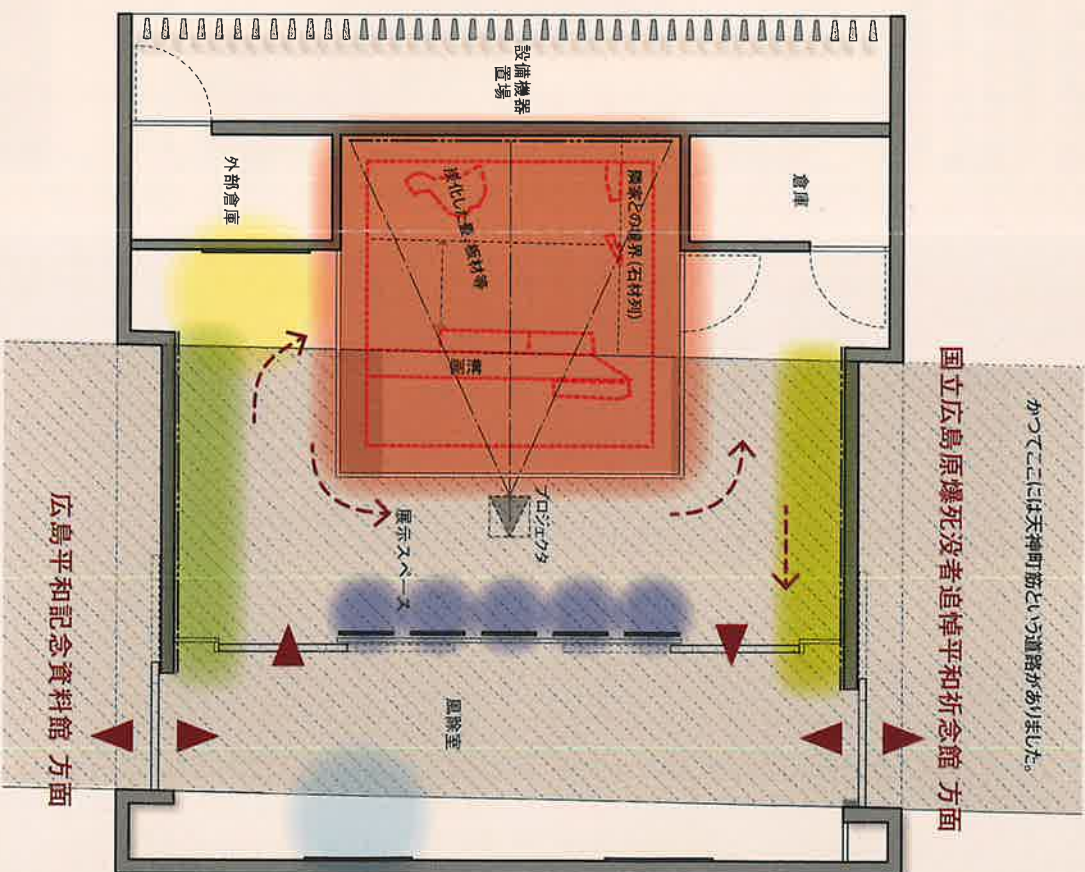
旧天神町筋の側溝やアスファルト、隣家との境界を示す石材列などの町並みの痕跡を現物展示するとともに、炭化した畳板材等の部分をシリアル展示しています。また、西側の壁面には、解説映像を映しています。

証言の爆被

原子爆弾の威力に関する解説とともに
かつて「この地」に暮らしていた人々の
被爆時の証言を紹介します。

「この地」が語る歴史

旧中島地区の町並みがつくられた時期（人が住み始めた江戸期）から、被爆前の町並み、被爆後の復興などを経て、現在の平和記念公園になるまでの変遷などを示しています。



かつてここには天神町筋という道路がありました。

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 方面

広島平和記念資料館 方面

※フグネット脱着式のパネルを使用しており、パネルの内容を更新することがあります。

※QRコードを読み取ると、本市ホームページが表示されます。本市ホームページには、建屋内のパネルでは紹介しきれない情報を掲載しています。